

グループホーム宝塚ちどり

ご家族懇談会を開催しました

介護事業係長 杉本 圭

六月二十五日(土)、グループホーム宝塚ちどり第六回ご家族懇談会を開催しました。

プログラムは、「平成二十二年度事業報告」「平成二十三年度事業計画」「人事について」「質疑応答」という流れで行いました。

平成二十二年度事業報告では、年間を通してのイベント報告等、概ね安定してお過ごし頂いている状況をご報告しました。また、注意を払いながらも発生した事故・ヒヤリ報告の集計結果もお伝えし、平成二十一年度よりも件数は減少傾向にありながら、ご利用者の重度化に伴う危険性の増加についてもご説明しました。平成二十三年度事業計画の報告では、特に、先日受審しました第三者外部評価の報告の内、『ホームの独自

性のあるイベントの実施』や『より食事が楽しくなるような環境の見直し』についてご説明し、少しずつでもご利用者の生活の質を高めるべく、取り組みを展開していく旨お伝えしました。

質疑応答では次のようなご質問を頂きました。

Q①先の東日本大震災を受けて災害時の避難等は問題なく行えるか？二階の場合、エレベーターが止まり階段の扉が開かない場合どのようにして外に出るのか？

A①震災前から毎月避難訓練を行っています。一階に降りることが困難な場合、二階ベランダにある特養との連絡通路などを使用して避難するよう想定しております。また、宝塚市西消防署からもご指導頂き、まずは、煙にまきこまれないよう、屋外や非常階段内での待機も周知しています。

Q②事故・ヒヤリハット報告で事故の分類に「転落」という項目があるが、どのような状況を指すものか？

A②高い場所から転落したという内容ではなく、主にベッドから床に転落しそうなになった事例を指します。

Q③同じく事故・ヒヤリハット報告で発生場所、件数の項目の下方に「余白」と表記されているが、これはここに記せないような内容が書かれているのか？

A③単純に余白の部分であり、何も書いていないマスをもそのままのことと、後で何かを追記・訂正したりできないようにするためです。

Q④終末期の看取りケアも行っているというのだが、実際今までにグループホームで看取りを行ったケースはあるか？

A④グループホーム開所以、来合計四件の看取りケアの対象の方がありました。現在は二名の方が看取りの対象とな



っています。最期を看取った方はまだありません。(状態が回復する方もありました)

午後からは懇談と交流も兼ね、手巻き寿司でお食事をを行いました。

寿司ネタや海苔を回し合ったり勧めたりする中で自然にご家族同士にも会話が生まれ、楽しい時間を過ごして頂けたと思います。



今回の懇談会に参加して頂いた、介護保険市民オンブズマン機構・大阪の岸本様からも次のようなご意見を頂きました。

・食事会のムードが和気あいあいとしていてよかった。(会話の多さ、にぎやかさなど)

・ご家族の参加人数が少なく、少しさみしい印象を受けた。素晴らしい会なので参加するご家族が多ければもっと素晴らしい会になると思う。
・ご家族の交流の場を作っていくと

いう流れを推し進め、それを家族懇談会につなげる工夫などはどうか？とのご意見でした。

ご家族や、オンブズマンの方から頂いたご意見を活かし、また、共同生活を援助するという原点も振り返りながら、新たな取り組みにも挑戦していき、来年の懇談会でも明るい話題を多くお伝え出来るよう、努めたいと思います。

最後になりましたが、当日にお越し頂きました、ご家族の皆様や、オンブズマンの岸本様に御礼を申し上げます。ありがとうございます。

委員会報告

広報・地域交流委員会

六月二十二日(水)開催

定例会議は、昨年度まで二か月に一度の開催でしたが、各委員会を統合することで月一回の開催となり、時事に沿った意見交換が行えるようになりました。

今回は広報委員会の内容を中心に協議しました。

今年是全国的な節電対応について情報交換を行い、各ユニットに法

人全体の啓発ポスターを掲示し、ご利用者にはご無理のかからない程度の節電を意識していくよう促していきます。(例えば、使用していない電気は小まめに消す。扇風機を使用しエアコンの効率を上げる等)

また施設内広報について、各ユニットの職員の写真を各階のエレベータ前の掲示版に掲示していく事になりました。(森本)

給食・感染症衛生対策委員会

六月十四日(火)開催

今回の定例会議では、今後の行事食について話し合いました。

七月七日は「七夕そうめん」、八月は出張レクリエーションとしまして「フレンチコースメニュー」「えらんだパフェ(コーヒー付き)」「焼きたてパン屋さん(コーヒー付き)」の三種より選択して頂くよう企画しています。(全館一斉ではなく、ユニット単位での提供予定)



また、七月からは、誕生日当日に特別メニューとしてケーキをお出しする事が決定しました。



その他、感染症対策としてはありませんが、ご利用者の生活スペースにおいて、職員が汚物等を持ったままその場を横切るような行為がないよう、基本的なモラルについて再度注意を促し、ご利用者、ご家族にとつてより良い環境を提供出来る様に努めます。(岡村)

サービス向上・研修委員会

研修委員会では、六月中に計三回全体研修を実施いたしました。

全体研修は、宝塚ちどりに勤務する全職員を対象としたもので、職員の資質と介護サービスの向上を目指して毎年実施しております。

内容としては、宝塚市の現在の高齢化の動向や、晋栄福祉会の基本理念などの基本的な事から、身体拘束のもたらす弊害や高齢者虐待への倫理意識について、感染症予防の基本

戦略である手洗いの正しい手順や、感染症や食中毒の事例検討を通しての感染症への対応方法など、多岐にわたっております。その他にも、プライバシー保護や法令順守、接遇などの内容にも触れており、より良いサービスを継続的に提供できるように取り組んでおります。

七月は認知症研修を予定しており、宝塚ちどり管理医師の池田医師に講師をして頂く予定です。(福山・市枝)

事故防止委員会

六月二十八日(火)開催

今回から二カ月に一度の定例会議を毎月行う事になり、より充実した内容で一つでも事故やヒヤリが減って行くよう努めて参りたいと思っております。

来月からKYT活動の更新時期を見直し、各ユニットでよく起こりうるヒヤリや事故の事例を挙げ、スタッフの意見が出しやすい活動を目指し



ます。継続して特養棟のエレベーター前に掲示してありますので、ご確認下さい。(米澤)

ユニット報告

逆瀬川・星の荘ユニット

六月二十日にお好み焼き・焼きそばの食事レクリエーションを行いました。

職員と一緒にご利用者の方々にも手伝って頂き、お好み焼きをひっくり返す楽しさや、焼きそばのソースの香ばしい匂いなど、目・耳・鼻で感じて頂くことができ、喜んでいただけたかと思えます。

調理中には「早く焼けないかな」や「おいしそうな匂い」など、色々な声が聞かれました。

七月後半にはご利用者ご希望の、そうめんレクリエーションも企画しています。(小林耕司)



五月台・青葉台ユニット

季節感を味わって頂きたいと思い、五月二十五日にバラ公園に行ってきました。

午前中の短い時間ではありましたが、天気も良く、綺麗に薔薇も咲いており、ご利用

者の方も喜ばれました。五月には王子公園への外出も予定していましたが、雨の為に中止になってしまい残念です。暑い夏は涼しげな行事も企画します。(長濱)

グループホーム

毎年春と秋に遠足を企画しております。本年度の春の遠足は、ご利用者とご家族と一緒に姫路セントラルパークに行ってきました。

昼食は園内のレストランにて幕の内弁当を頂きました。なかのポリariumでしたが、楽しい遠足に後押しされてか、概ね



完食されていました。

マイクロバスで行く遠足は、日頃の生活とはまるで違った一日を満喫して頂けたのではないかと思います。自然の中で、いきいきと活動的に動く動物達はとても印象深く、また、その大きさに圧倒されました。(森)

節電のお知らせ

新聞や報道でも取り上げられている『節電』について、法人一体となって取り組む事にしました。

当施設では、平成二十年六月よりISO14001(環境マネジメントシステム)に取り組んでおりますが、今夏はより一層意識を高め取り組むたいと思います。



館内の一部では、暑くなっている、暗くなっているところも有りませんが、何卒ご了承下さい。また、逆にエアコンがついたままの空き部屋や、不要な電気の点灯等、お気づき

の点がございましたら、各ユニット

職員が事務所までお申し出下さい。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。(田中)

(仮称)『夕涼み会』のお知らせ

今年度の夏祭りは、いつもより規模を縮小し、夕涼み会形式で開催したいと思います。

現時点では、敷地内か館内で模擬店を出し、夏の終わりを感じて頂きたいと考えています。

平成二十三年八月二十七日(土)

夕方に開催予定

詳細はあらためてご案内しますが、予定日のみお知らせします。

(笹尾)

編集後記

今年の梅雨入りは、例年よりずっと早く五月中に始まり、七月八日で梅雨が明けました。梅雨が明けないうちから激しい猛暑に襲われましたが、本当の暑さは夏本番のこれからです。(小林正典)

